



気象庁発表 全国1か月予報(平成29年7月27日発表)

- 東・西日本と沖縄・奄美では、暖かい空気に覆われやすく、向こう1か月の気温は高いでしょう。
- 西日本と沖縄・奄美では、期間の前半は気温がかなり高い所があるでしょう。
- 北・東日本では、前線や湿った気流の影響を受けやすく、向こう1か月の日照時間は平年並か少ないでしょう。降水量は、北日本では平年並が多いでしょう。
- 西日本では、前線や湿った気流の影響を受けにくく、向こう1か月の降水量は平年並か少ないでしょう。

2017 August

VOL. 30

豪雨対策にクラウド雨量を!!

平

成29年7月九州北部豪雨をはじめとして、7月は各地で大雨による大きな被害が出ました。ANEOSグループでは近年クラウドを利用した気象観測システムを構築していますが、ゲリラ豪雨などの対策として雨量観測に特化した「クラウド雨量」の納入を開始しました。このシステムは、観測したい場所に雨量計と通信機器を設置するだけで、インターネット上からリアルタイムに雨量を監視することが可能となります。また、利用者側ではサーバの保守管理や気象庁の検定期限などを考える必要がなく、効率的かつ継続的に局地的な雨量を監視することが可能となります。

ここが
ポイント!

- 利用者側にサーバ等の設備が不要
- 伝送網は光回線、専用線、携帯電話網等さまざまな回線に対応
- 商用電源の無い場所でも観測が可能
(省電力ロガーの採用により太陽光パネルとの組み合わせが可能)
- 太陽光パネルと携帯電話網を組み合せれば、面倒な配線工事などが不要で工事が容易
- 観測地点を増やしたり、機能の追加などが容易に可能
- ・警報時のメール通報機能
- ・気象庁発表の注意報警報など警戒情報の反映
- ・観測データの一般公開…etc



システムイメージ図

観測局(雨量発信器・屋外観測盤)



FOMA回線、NTT回線、地域ネットワーク回線、CATV回線等…様々な回線を利用し構築可能

データセンタ
(NEIクラウドサーバー)

インターネット

管理者の方



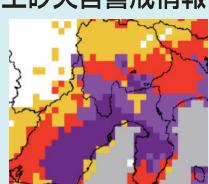
(雨量閾値超過時、職員に自動通報)



観測データはクラウドサーバにて運用しますので、ユーザー様への機器設置は不要です。

ナウキャスト

土砂災害警戒情報



気象情報機関からの様々な防災情報との連携が可能

管理者向けと一般公開用画面を別々に作成することも可能。